

報告書整理番号	20-技 2-063
依頼書整理番号	-
依頼先番号	-

2020年10月30日

株式会社 G-Power 御中

報 告 書

報告者：技術開発部 技術開発1課 甲斐 拓哉



題名：G-Power88 耐候性試験（追加検証）

要 旨

G-Power88 の耐候性試験（1000 時間）後の接触角変化を検証しましたので結果をご報告いたします。

耐候性後に接触角の変化は有りませんでした。また、外観および色の変化もありませんでした。

カシュー株式会社

承認	審査

1. はじめに（目的）

G-Power88の耐候性試験（1000時間）後の接触角変化を検証しましたので結果をご報告いたします。

2. 検討内容

基準となる施工条件を以下のように設定しました。

基材 フロートガラス（10cm×10cm）
脱脂 IPA脱脂
施工回数 G-Power88→スチーム処理3回
養生条件 23℃×50%RH×1週間

3. テスト結果

耐候性

標準塗板の耐候性（SWOM、BP=63℃、1000時間（雨有り））を接触角にて評価しました。

		純水	ヘキサデカン
試験前		105°	60°
試験後	500時間後	101°	62°
	1000時間後	103°	61°

4. 考察及びまとめ

耐候性後に接触角の変化は有りませんでした。また、外観および色の変化もありませんでした。

以上、ご査収の程よろしくお願いいたします。